



RI 第2610地区

東となみロータリークラブ会報

2015-2016年度 No.8

事務局(新) 〒939-1652 富山県南砺市福光新町 56

TEL 0763-55-6125

FAX 0763-55-6147

h.tonamirc@gmail.com

2015—2016年度 会長 浅田裕二、幹事 中島眞市

2015-2016年度 RI テーマ



世界へのプレゼントになろう

(K.R. “ラビ” ラビンドラン会長)

例 会 記 録(柳生ガバナー公式訪問)

第1780回例会(会長・幹事懇談会に続いて)



平成27年8月26日(水) 12:30 よいとこ井波

1. 点 鐘 会長
2. ソング: それでこそロータリー
3. ゲスト: 柳生好春ガバナー(野々市 RC)、池田茂ガバナー補佐(新湊中央 RC)、舟元英一地区副幹事(野々市 RC)
4. ビジター: 西川雄策会員 (南砺 RC)
5. 会長の時間: 先程、湯浅ガバナー補佐を囲んで、懇談会、大変会員増強の熱い思いを感じました。先日、「みに美容室」創業100年、大正4年から5代に亘る歴史を感じます。いなみ国際木彫刻キャンプは30日まで、日曜日は2000人の来客数だったが、まだ少なくて残念。ロータリーでも協力しましょう!
6. 幹事報告: ①第27回源流セミナーin 富山、10月17日(土)ホテルグランクラス富山にて。②例会変更等は、事務局に確認を!
7. 出席報告(代理): 20名中14名出席(70%)
8. 委員会報告: ①社会奉仕に関して(山本武夫会員): 「いい歯の日キャンペーン」 今年は11月6日(金)午前、

井波にじいる保育園で予定。

9. ニコニコBOX(SAA: 本日13名)

柳生ガバナー、池田ガバナー補佐、舟元地区副幹事:

それぞれ、ニコニコ BOX を頂きました。

西川会員(南砺 RC): G 訪問の例会に出席しました!

浅田会長: 柳生 G・池田 G 補佐・舟元地区副幹事、来訪歓迎!

中島幹事: 公式訪問歓迎(会長に同様)!

小西会員: G 公式訪問歓迎、本日はこの部屋、華やか。

斎藤彰会員: 柳生 G 歓迎! ご指導宜しくお願いします。

三角会員: 柳生 G 歓迎! 御指導宜しくお願いします。

坂井会員: 柳生 G 歓迎! ご指導宜しくお願いします。

河合会員: G 一行歓迎! 木彫刻キャンプ、是非観覧を!

山本武夫会員: G 一行歓迎! 宜しく御指導を!

長田会員: 柳生 G、皆さん、井波へようこそ!



本日の花: ①ワレモコウ ②葉蘭(河合会員提供)

ゲスト卓話「ロータリーの魅力」

柳生好春 国際 R 第 2610 地区ガバナー



柳生ガバナー：今日は、「ロータリーの魅力」について話を聞いて頂きたい。それが「会員増強」に繋がることを理解してほしい。先程、浅田会長の紹介に「手をあげてガバナーになった」と紹介されたが、私は 38 歳で入会し、25 年経った今、ロータリーがまさに、好きで好きでたまらない人間。今会員数減少という危機に面するロータリーの為にできることをしたい。RI テーマ「Be a gift to the world」の中の gift は贈り物だが、present のような品物でなく、天から与えられた才能と考えられ、私はロータリーの為に、地区のクラブの活性化のために、1 年できる限りを尽くしたい。皆さんも、この 1 年ロータリーに是非、尽くして頂きたい。

さて、会員増強の素晴らしい 1 例をあげると、我が野々市 RC は、昨年 33 名から 41 名に 8 名の純増を果たした。我がクラブは 1980 年創立、昨年 35 周年を迎えた。チャーターメンバーが 29 名ということで、ここを防衛線と考え、多い時 60 名近くいたのが 30 名台で長いこと推移していた昨今、危機感があった。昨年の会長と会員増強委員長が、前半の 35 周年事業を終えるや、後半猛烈に入会勧誘に動き出した。地元新聞紙記事から、企業名を HP で調べ、少しでも企業理念に、「社会に貢献したい」という言葉を見つけると、直ちにアポイントを取り、出かけた。そこで会う社長や代表に「ロータリーこそが社会に貢献できる団体」と大いに魅力を語って勧誘する。これが、純増 8 名に繋がった。先日、ローターアクトの研修会にも参加したが、この地区でも中小企業は昨今なかなか経営が厳しい。若手の企業家は大変勉強をしたがっている。京セラ元会長の稲盛氏の「盛和塾」には、8000 人の若手経営者がいる。如何にいろんなノウハウを求めているか。そこにロータリーが入り込めるか否かは、ロー

タリーに魅力を感じるかどうかである。入会につなげるには、ロータリーの素晴らしいことを聞いてもらう必要がある。

そこで、本題「ロータリーの魅力」とは、2 つあり。1 つは『異業種交流』であり、もう一つは『生涯教育』。私は、大学を出て会計事務所に 5 年勤務の後、脱サラして学習塾を始めた。38 歳の時、年配の「眼鏡屋さん」にロータリーに勧誘された。その時まで、ロータリーとは、「功なり名をなした人が入る」、素晴らしい人、優れた経営者の集まりと思っていた。実際入会してみて、いろんな業種の人の話を聞き、自分の仕事にも生かせる新しい発想もでき、大変ためになった。また入会直後、自分は若いので雑巾がけからさせてもらうつもりで、入会早々に会報を担当し、原稿お越しに苦勞をした。先輩から「ロータリーに NO はない」「やっているうちに分ってくる」と言われ、実際にそうだった。これは、素晴らしい教育プログラムである。生涯学ぶことがある。

「クラブ奉仕」については、2700 地区廣畑富雄パストガバナー(医師：福岡西 RC)は、著書「ロータリーの心と原点」の中で、「奉仕」と原語「service」の意味を考えながら、最大のクラブ service は、「例会出席」と“友情交換・絆構築”であると述べている。友情について、「西洋での友情は最高の徳」つまり「友の為に命を捨てるよりほかに大いなる愛はなし」ともいい、フランク・コリンズはミネアポリス RC のコンセンサスとして「もし自分に何かあったらロータリーに相談しなさい」と。ロータリーは友情を育む。1 週間に 1 回の出席は、忙しいロータリアンでも、時間を上手く使える仕事のできる人は大丈夫。若手経営者を育て、リーダーシップが磨けるロータリーはいろんな職業の人が集まる素晴らしい所。職業倫理を高め、職場例会、優良従業員表彰、四つのテスト掲揚など、ロータリーは職業奉仕が基本。今度、富山の「源流セミナー」は素晴らしいので是非聴講を！中小企業はトップで決まる。「ロータリーボイス」の 4 つのキーワード：①賢明であれ②思いやり③粘り強く④行動力。これら、ロータリーの素晴らしさを若い経営者に熱く語って欲しい。これが「会員増強」に繋がる。

(会報委員会：本日担当、山本武夫：卓話。会長の時間：長田。写真担当：桧原。)